

3-2-2 グリーン購入を実施する上での課題一分野別（問 3－3）

グリーン購入に組織的に取り組んでいる団体について、分野別にグリーン購入を実施する上での課題について質問したところ、都道府県・政令市では全ての分野において「⑤グリーン購入法の判断基準や対象品目の範囲の記述が難しい」との回答が最も多く、次いで「⑥グリーン購入関連製品や取扱事業者の情報収集が難しい」、「⑦グリーン購入関連製品は価格が高い」、「⑧グリーン購入を推進した場合の効果が見えにくい」、「⑨調達がない・ほとんどない」との回答が多かった。

	① 係 する 実 際 に 調 達 を 行 う 各 課 部 署 や 関 係 する 部 署 と の 調 整 が 難 し い	② 意 識 が 低 い グ リ ン 購 入 に 対 する 組 織 的 な	③ 文 書 グ リ ン 購 入 を 実 施 す る た め の 作 成 が 負 担 で あ る	④ を グ リ ン 購 入 の た め の 余 裕 が な い 人 的 実 施 の 準 備	⑤ 象 グ リ ン 購 入 法 の 判 断 基 準 や 対 象 品 目 の 範 囲 の 記 述 が 難 し い	⑥ い グ リ ン 購 入 関 連 製 品 や 取 扱 事 業 者 の 情 報 収 集 が 難 し い	⑦ 高 い グ リ ン 購 入 関 連 製 品 は 価 格 が	⑧ 効 果 グ リ ン 購 入 を 推 進 し た 場 合 の が わ か り に く い	⑨ 調 達 が な い ・ ほ と ん ど な い
①紙類	4	8	6	6	1	4	2	3	8
②文具類	5	8	6	6	1	3	2	3	8
③オフィス家具等	5	7	7	6	1	3	2	4	9
④画像機器等	5	7	7	6	1	2	3	3	9
⑤電子計算機等	5	8	7	6	1	2	3	4	9
⑥オフィス機器等	5	8	7	6	1	3	2	4	9
⑦移動電話	4	7	9	6	1	2	4	3	7
⑧家電製品	5	7	8	6	1	2	2	4	8
⑨エアコン等	5	7	7	5	1	2	3	4	9
⑩温水器等	4	8	8	6	1	2	4	3	6
⑪照明	4	7	7	6	1	3	2	4	9
⑫自動車等	4	8	7	6	1	3	2	5	9
⑬消火器	4	7	8	6	1	2	4	3	9
⑭制服・作業服	5	7	7	5	1	2	2	4	9
⑮インテリア・寝装寝具	5	7	7	6	1	2	3	4	7
⑯作業手袋	4	7	8	6	1	3	2	4	9
⑰その他繊維製品	5	7	7	5	1	2	3	4	9
⑱設備	2	9	7	6	1	2	7	4	5
⑲災害備蓄用品	3	7	8	6	1	2	3	3	9
⑳公共工事	2	7	7	4	1	2	5	5	9
㉑役務	3	8	7	6	1	2	4	5	9

※分野別順位：分野別に回答を集計し、回答率が高い順に順位を記載した。

図 5 9. グリーン購入を実施できない要因一分野別順位（都道府県・政令市）

株式会社ファインはエコマークアワード 2018「審査員特別賞」受賞しました！




【選考委員会評価コメント】

株式会社ファインは、2001年から継続してエコマーク認定商品のみを掲載した商品カタログ「グリーンステーション」を展開。冊子、ウェブ、電子カタログと、利用者のニーズに合わせた媒体での情報提供を継続している。冊子カタログは公的機関を中心に毎年無償配布され、電子カタログでは発注仕様書を出力するサービスを提供して調達時の作業の効率化に活用されている。こうした企業努力による継続した取り組みは、エコマークの普及とグリーン購入の促進に常に刺激を与え続け、環境配慮型商品の市場拡大に大きく貢献している。

■「エコマークアワード」とは

「エコマークアワード」は、2010年に創設された、エコマークで初めての表彰制度です。エコマーク事業の目的である「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体等を表彰するものです。それらの優れた取り組みを広く公表するとともに、エコマーク商品のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的とします。（主催者資料より）

全国カタログ配布数

 =50冊 50冊以下は切り上げ
例)
156冊の場合は、4冊

